

れいわさんねん くがつ じゅうがつ
令和三年 九月・十月の詩

心のスイッチ

とうい よしお
東井 義雄

人間の目はふしぎな目
見ようという心がなかつたら
見えても 見えない

人間の耳はふしぎな耳
聞こうという心がなかつたら

聞いていても 聞こえない

頭も そうだ
はじめからよい頭 わるい頭の
区別があるのではないようだ

「よし、やるぞ!」と

心のスイッチがはいると

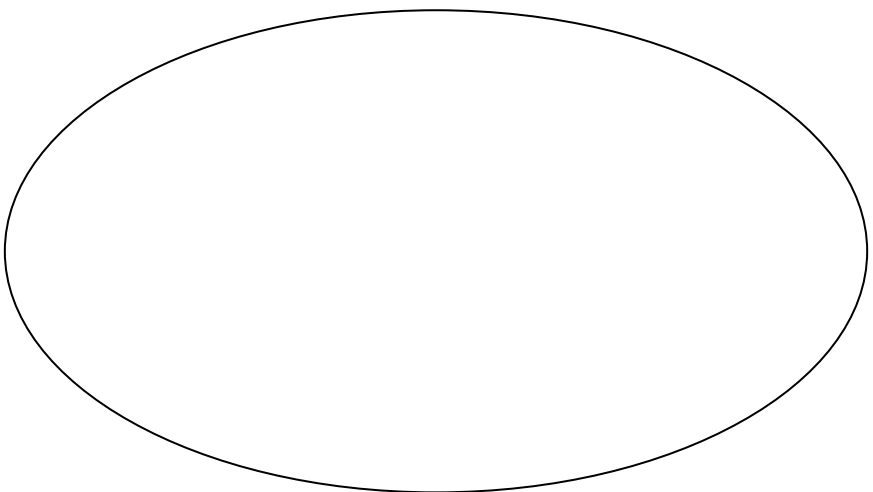
頭も

すばらしい はたらきを

しはじめる

心のスイッチが 人間を
つまらなくもし すばらしくも
していく

電灯のスイッチが
家の中を 明るくもし
暗くも するように



おもいうかんだえやイラストをかいてみましょう。